



第2回
野洲川MIZBEステーション
かわまちづくり検討部会

1

MIZBEステーションについて

MIZBEステーションとは

- 平常時における、地域活性化や賑わいの創出が期待される河川防災ステーション
- 災害時と平常時両面の機能を併せ持つ「MIZBEステーション」に進化させ、地域活性化を推進

《MIZBEステーションのポイント》

①滞在のしやすさ

- ・ 駐車場やトイレ、テーブル、ベンチ等の休憩施設などの施設が充実



広い駐車場



防災啓発コーナー



水防多目的センター

自然体験活動・各種イベント例



②地域連携

- ・ 地域活性化、賑わいの創出に寄与するレクリエーション施設、地域振興施設、文化・教養施設、民間施設などが水防センターに併設または隣接

例)



運動・教室スペース



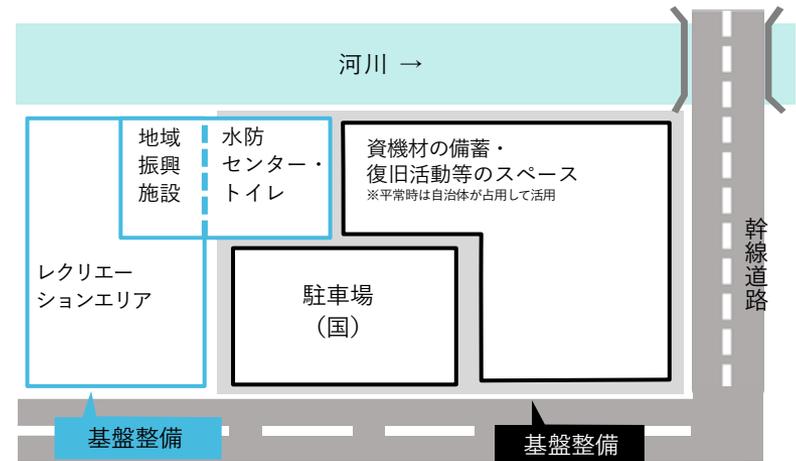
武道交流館



民間商業施設と隣接

③アクセスのしやすさ

- ・ 幹線道路に面するなどアクセスしやすい立地環境



整備の役割分担
黒：国／青：市町村

従来型の河川防災ステーション

駐車場・トイレ・地域振興施設を備えたMIZBEステーション

MIZBEステーションの整備イメージ

河川防災ステーションとは

- 河川防災ステーションは、災害時（洪水等の発生時）における緊急復旧活動の拠点となる施設であり、水防センター（市町村等が水防活動を円滑に行う拠点）を併設している。
※基本的に避難所ではなく、災害時の活動拠点となる。
- 河川防災ステーション（水防センター含む）は、平常時においても利活用のポテンシャルを有しており、すでにいくつかの施設で活用がなされている。

<災害時>

- 被災箇所の復旧工事のための材料備蓄
- 排水ポンプ車など災害対策車両、防災ヘリの拠点
- 水防活動の拠点（水防団）



<平常時>

- 地域のコミュニティースペースとして活用
- 水防活動の訓練などに利用
- 防災学習の場や川の情報発信拠点として水防センターを活用



河川防災ステーションの整備施設について①

○水防活動の拠点となる水防センターや災害時に参集する水防団員、国、市など関係機関の担当者が使用する駐車場を整備

水防センター・・・水防活動時の拠点（司令部、待機場）、水防資材庫

[→詳細は現在検討中](#)



水防センターの事例(嘉瀬川防災ステーション、佐賀県)

駐車場・・・水防活動時等の作業員の駐車場。

【間取り図】



水防団員による水防活動（排水作業）



水防団員による水防活動（月の輪工法）

河川防災ステーションの施設整備について②

○復旧活動を行う重機の運用に必要な施設を整備

ヘリポート

- ・・・ヘリコプターの緊急輸送時の離着陸



車両交換場所

- ・・・資材運搬車両、重機の回転場、備蓄資材搬出の作業ヤード



車庫

- ・・・ポンプ車、照明車の車庫として使用



河川防災ステーションの備蓄資材整備について

○堤防決壊など、被災箇所の復旧に必要な資材を備蓄

備蓄資材・・・ 仮復旧堤防用土砂、根固めコンクリートブロック、雑割石、鋼矢板

■土砂・・・・・・・・仮復旧堤防、堤防復旧に使用

■根固めブロック・・・復旧初期に必要なとなる決壊箇所の羽口工に使用

■雑割石・・・・・・・・1次締切（荒締切）に使用

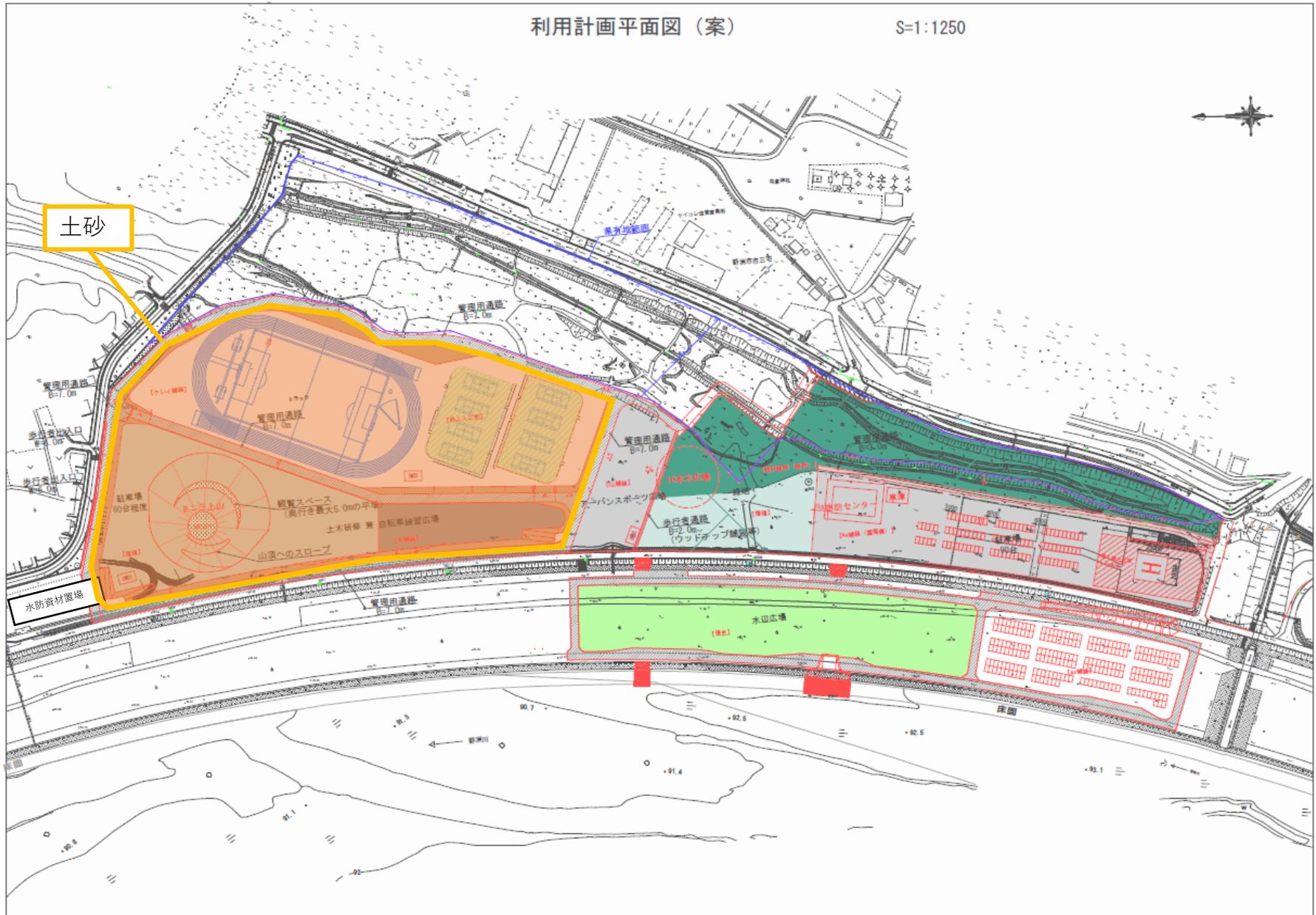
■鋼矢板・・・・・・・・2次締切（鋼矢板二重締切）に使用



※現在、検討しているレイアウト案とは配置が異なります。

野洲川MIZBEステーションのレイアウト（案）土砂について

※レイアウトについては、現在検討・計画中の段階であり、今後変更となる場合があります。



野洲川MIZBEステーションの役割整理

- 野洲市で現在検討している新たな拠点整備においては、各拠点の立地や主となる機能を軸に、**拠点ごとの整備目的や果たす役割を明確**にし、新たな拠点整備が野洲市のまちづくりの指針に向けた取り組みにつながるよう検討を進める必要があります。

まちづくりの指針

市民が幸せに暮らし続けられるまち、
飛躍を遂げるまちづくりをめざす3つの方針

- ①若い世代から選ばれるまち
- ②高齢者にも安全・安心で楽しいまち
- ③市民・民間の力を最大限に活かすまち

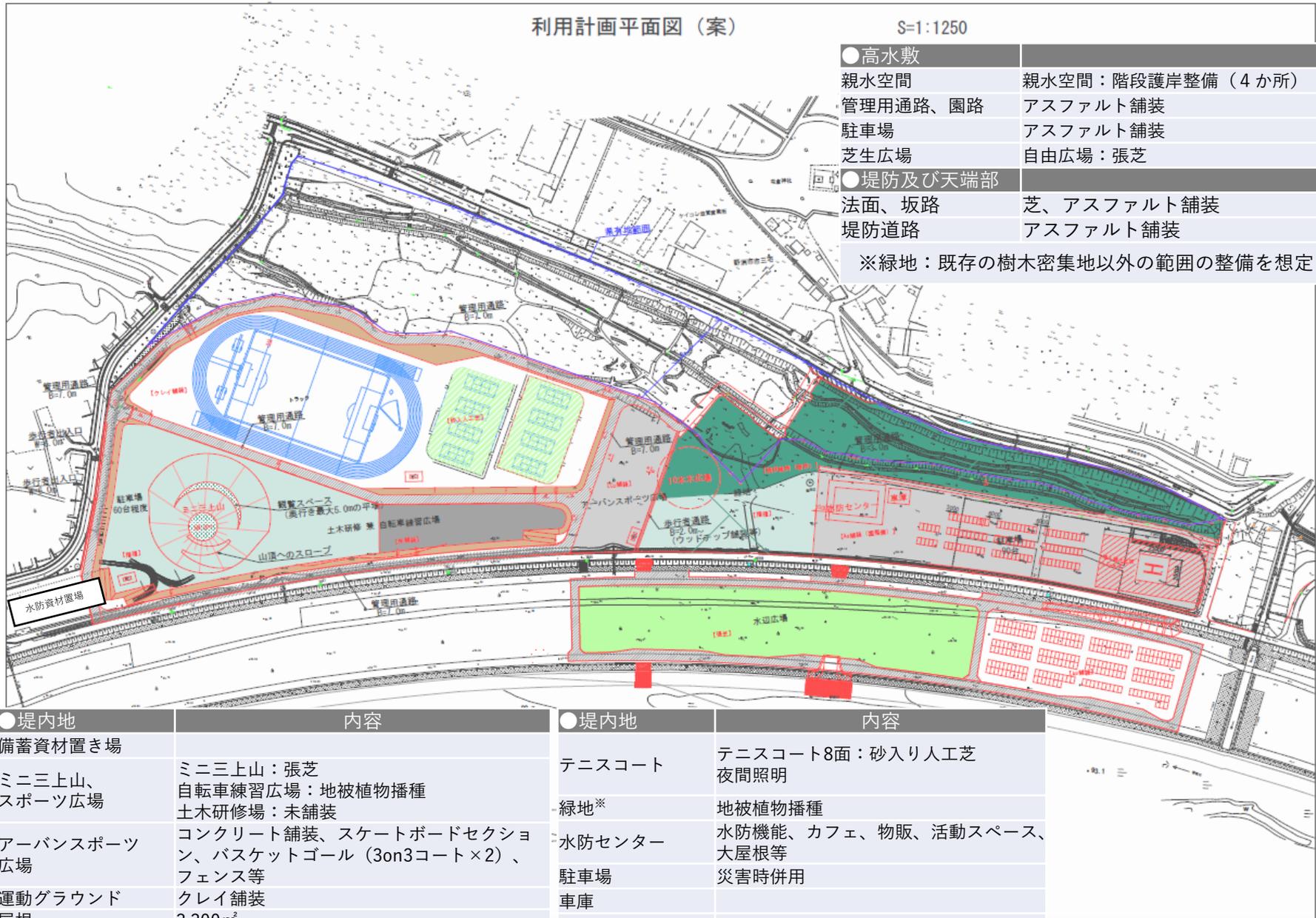
第2次野洲市総合計画・めざす将来都市像(R3～R12)

笑顔あふれるにじいろ都市やす
多様な人々と多彩な自然が調和した個性輝くにじいろのまち

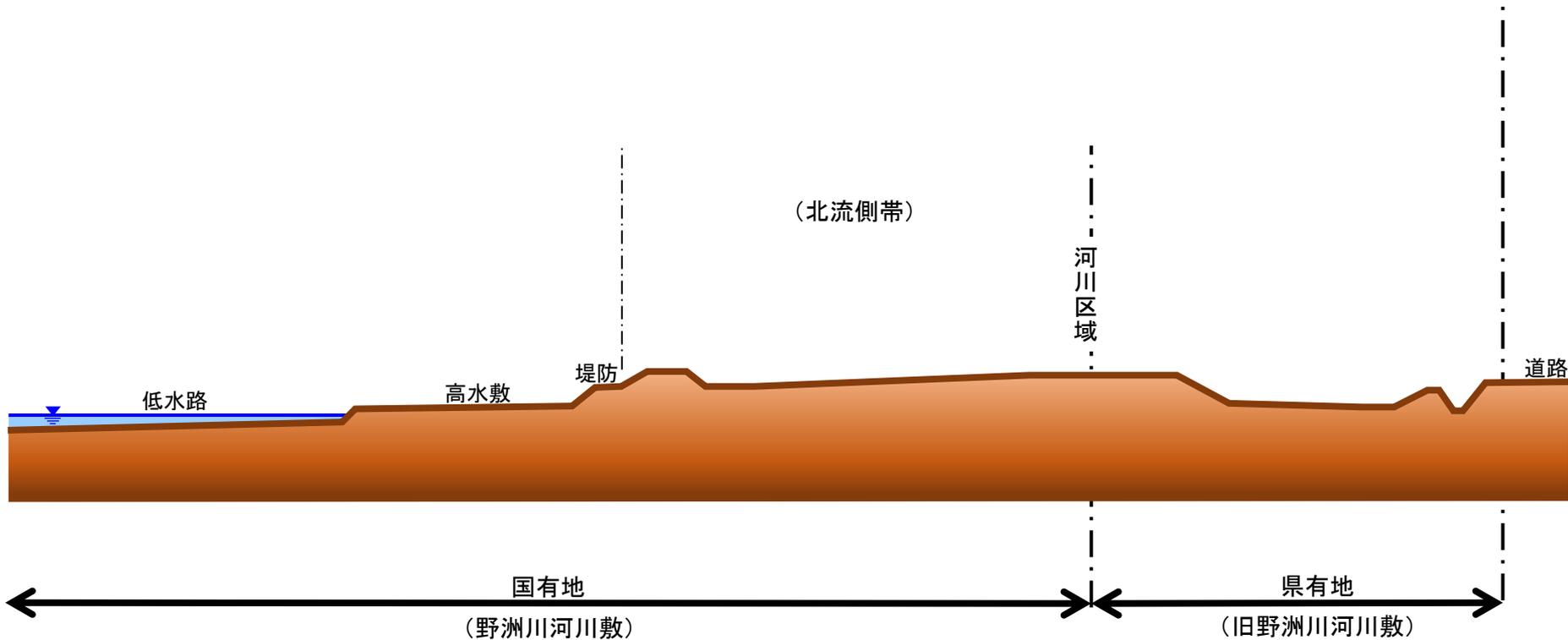
	野洲川MIZBEステーション	野洲駅南口整備	さざなみホール
場所	市三宅（野洲駅より車7分）	小篠原（野洲駅前）	比留田（野洲駅より車15分）
立地・特性	<ul style="list-style-type: none"> ・ MIZBEステーション ・ 野洲川北流跡自然の森 ・ 県立高等専門学校(R10年春開校予定) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ JR野洲駅前、野洲市の玄関口 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農地に囲まれた豊かな環境 ・ 黒川紀章設計
政策キーワード	防災/自然とふれあえる/人材育成/学び/スポーツ・レクリエーション活動/高等専門学校/飲食施設/地域資源・観光振興/等		
将来像	市民とともに作る、人と自然の好循環を育む『学び』の拠点（MIZBEステーション×高専×自然）		
主な取り組み分野（役割）	防災・環境・教育・健康スポーツ		
イメージ	 <p>写真：リバーポートパーク美濃加茂 https://rppm.jp</p>	<h1 style="color: red;">検討中</h1>	

野洲川MIZBEステーションのレイアウト (案)

※レイアウトについては、現在検討・計画中の段階であり、今後変更となる場合があります。



野洲川MIZBEステーションの計画エリア断面イメージ



* 計画エリア平面イメージ図の中央付近の横断をイメージ表示したもの

水防センターの機能・ボリューム検討の状況

MIZBEステーションの中で拠点施設となる
水防センターとそれぞれの場所との関係性がどうあれば活動しやすいでしょうか？

水防センター	650㎡程度 ・水防機能 ・活動スペース、大屋根、カフェ・物販等
--------	--

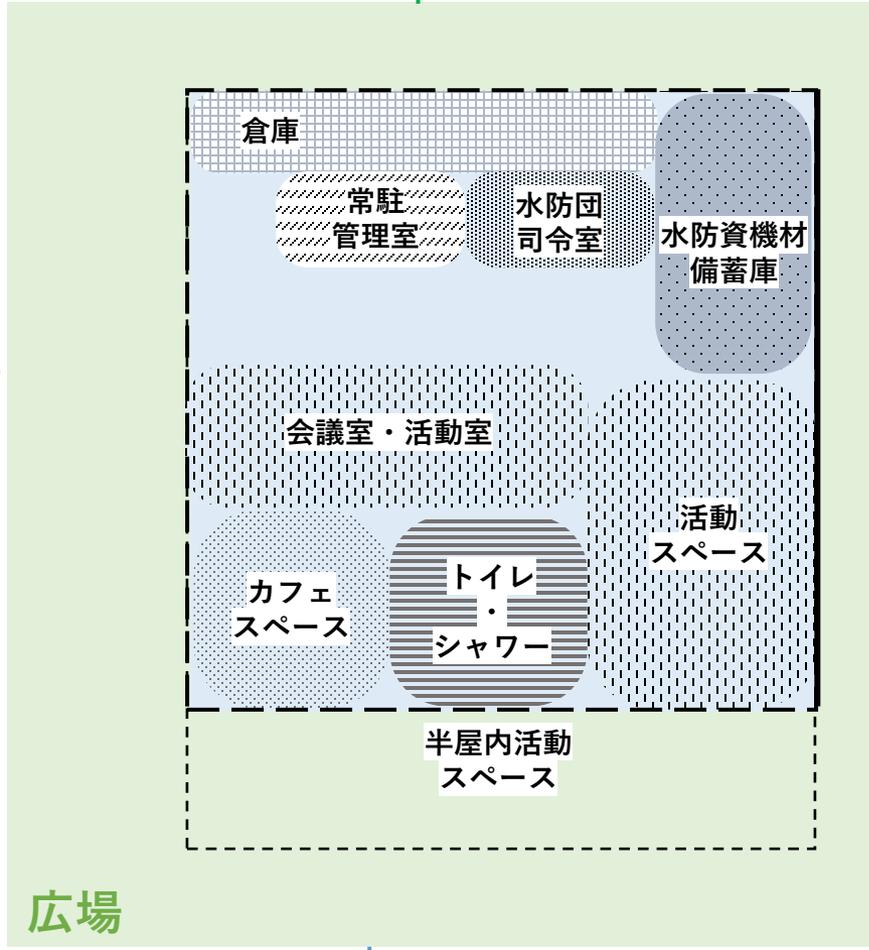
室・機能名		広さ
水防センター機能	平常時活用施設	
水防司令室	—	18.0㎡
水防資機材	—	16.0㎡
備蓄庫	—	34.0㎡
水防団待機室	会議室・活動室	76.0㎡
一時避難場所	屋内活動スペース	98.0㎡
炊き出し	カフェスペース	42.0㎡～ ※事業者ヒアリングを踏まえて要検討
男性トイレ	男性トイレ	9.0㎡
多目的トイレ	多目的トイレ	6.8㎡
女性トイレ	女性トイレ	9.0㎡
—	常駐管理室	18.0㎡
—	倉庫	28.4㎡
—	シャワー室	20㎡
—	半屋内活動スペース	144㎡

高専
←

スポーツ
←

←

自然保全活用ゾーン



駐車場
→